

(4) 教授過程 (第3次取り扱い)

学習活動・内容	時間	協力	
		T1	T2
1, 鳥になってのめあてや約束について話し合う。 (1) 3次場面の表現 (2) 前まわり	3	○ 健康状態や服装をみる。 ○ 理解について観察する。	○ ひとりひとりの参加を援助する。 ○ 理解について観察する。
2, 鳥になって表現する。 (1) 基本的な表現 ・とび方、巣のつくり方、えさのとり方、歩き方 ・リズムに合わせて1人で表現 (2) 連続表現 ・動き、中心になるもの、情景 ・リズムに合わせてグループごとに発表	22	○ 子どもの動きをみてピアノ伴奏をする。  ○ レコードをかける。 Bグループの指導 (カラス、はと、すずめ) ・リズムカルな動き	4, 鳥の動きの表現をさせる。 ・自分は何の鳥なのか ・曲をよく聞えての表現 ・表現の条件  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">                         とんだり、巣をつくったり、えさをとったり、歩いたりをピアノに合わせて動けますか。                     </div> 5, 3次場面を表現させる。 Aグループの指導 (あひる、白鳥、つる) ・各グループの表現
3, 前まわりをする。 (1) いろいろな動きの練習 ・4つ足歩き、うさぎとび、ゆりかご、横まわり (2) 各グループのめあての話し合い A - スピードをつけての前まわり B - まっすぐところがり、ひざを持って起きる C - 傾斜をつけての前まわり (3) グループ別の前まわり (4) グループ別の話し合い	17	○ 正しくできない子どもの個別指導をする。  Bグループの指導 ・ひざをかかえて起きる練習 ・頭をひざにつけるようにしての前まわり	○ ゆりかごの全体的な傾向をとらえる。  7, 前まわりをさせる。 ・よい前まわりを見て、めあてをはっきり  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">                         ○○さんのよう肩の幅に手をしっかりついて、頭をひざにつけるようにしてまわれますか。                     </div> Aグループの指導 ・自由に練習させて、なめらかに正しくまわるくふう 8, うまくいったところや、つまづきについて話し合う。
4, 整理運動をする。 ・前後屈 ・跳躍 ・側屈 5, 次時の予告を聞く。 6, あとしまつをする。	3	9, 整理運動をさせる。 ・からだの調整 ・うがいや手洗い 10, 4次学習について知らせる。 11, 用具のかたづけについて話す。	○ 疲れや発汗の状態を観察する。 ○ 用具のかたづけを援助する。